

ニュースクリップ News Clip

あ き ひと しょう こう にん
商きない工らす人びと ふくしま商・工・人

- P2 ヒストリーインタビュー
- P3 通常総会・事業計画重点事項
- P4 青年部・女性部だより
- P6 いいものmekke
大野農園 新たな農業スタイルの形成
「カッコいい農業」が目標
- P8 元気印!!ズームアップ
- P10 Information 商工会だより
- P12 掲示板

「らぱんが作るすべての製品は、本物であること。」(株)いわき遠野らぱん 代表取締役 平子佳廣さんにお伺いしました。

ヒストリーインタビュー

「いわき遠野からはじまる6次産業化」

いわき市遠野町・株式会社 いわき遠野らぱん

2015.7.7
Vol.369



パッケージデザイン
商品開発からOEM
製造まで行っています。



いわき遠野からはじまる6次産業化

「いわき遠野らぱんが創るふる里の未来」

私達、株式会社いわき遠野らぱんは、年々過疎化が加速するふるさと「遠野町」の活性を願い、地場産業の発展と雇用の創出、地域人材の発掘と育成を目指し、二〇〇五年に農業生産法人として活動を開始しました。

「コンセプトは、『らぱんが作るすべての製品は、本物であること。』」

目的は、『健康こそ幸せの証し、全ての人のらぱんの元気を!!』届ける。

生産する野菜は、『農薬なんか使わない方がいいに決まっているし』『肥料も化学肥料じゃない方が安全だ。』と解り、栽培方法にこだわりました。

しかし、そのような野菜は国内生産量のわずか〇・二八%しかなく分かります、自分達で作るしかないという結論に至りました。

体に良いものを目指したら、環境にも良いものだった。

らぱんのメンバーと二番に考えたのは、家族に食べさせるならどんなモノを作れば良いのかと考えました。突き詰めるとヒト(体内環境)に対して、最も良い状態の野菜とその栽培方法は、その栄養価が最大である採取の時期を理論的に満たすと、その野菜のみならず自然環境に最も優れた農業という結果でした。この農法で作った完全有機無農薬野菜は首都圏を皮切りに取引額も増え、精力的に生産高も増やしていきました。

そして、東日本大震災

二〇一二年三月十一日十四時四十六分。日本観測史上最大の地震は、福島を二瞬にしてブックシマにしていきました。らぱんには、辛い人的な被害は無かったのですが、取り巻く環境は、想像を絶するものでした。

らぱんは、今回の地震に直面して、復興のための活動をボランティアベースで取り組みました。

その中から得たものは、目の前のあらゆる困難に怯むことを止めました。これまで培ってきた農業に、今こそ一層の力を入れる時だと固い決意をしました。

地元の若者の雇用も積極的にを行いました。ブックシマに対する、国や県の支援事業に農業が大きく取り扱われることになり、率先して申請しました。

食品加工場

「ドメーヌ・ド・ラパン」の創設

『ふくしま産業復興企業立地補助金』を受けて、待望の加工工場が二〇一五年二月二十六日に完成し、ここでは、様々な食への取り組みを考えています。特に野菜のスープに焦点をあてて事業を展開しています。

商品名は、フィットブロス®シリーズ『陽の栗』です。

本来、野菜には、捨てる部分はありません。ただ、農薬や与える肥料が野菜の内部に残る事が問題なのです。ですから、通常の野菜では、廃棄する部分がたくさん出てしまいます。ラパンのフィットブロス®は、捨てるどころが全くありません。最近、マスコミなどに紹介された、野菜クズを使ったスープ(ベジブロス)がありますが、使用する野菜自体の問題は、解消されません。

らぱんの『陽の栗』は、安全で美味しい貴重な完全有機無農薬野菜を贅沢に使ったスープなのです。

そして、使用する材料は、かぼちゃと玉ねぎとニンジンだけです。野菜の細胞内部の高次機能性成分がスープつまり水に溶け出しているだけの食品です。塩も砂糖も化学調味料も何も使わない、極めてシンプルな製品ですが、これこそが完全有機無農薬野菜本来の力をフルに発揮することができるもの

なのです。この製品は首都圏の病院では患者に多大な負担を強いる外科手術の術前術後の体調管理にも使用されています。

農業はうつある

六次化という言葉が聞かれたこともおありと思います。一次は、生産部門です。二次は、加工業。三次は、販売です。農業に従事する、特に二次の生産者が主導権を握って、積極的に製品開発に取り組み加工業者との連携を密にして、消費者にも直接相対し、経営自体を根本的に再構築しつつ、所得も農業の本質も向上させることを二次、二次、三次を足して、六次化と表現します。私達らぱんは、農業生産法人なのです。六次化の先端を行く集団です。ブックシマの現状は風評被害という大きな荷物を背負っています。今、らぱんは、二次農業を充足させる時であり、加工に軸足を置くべきであると考えています。そして、今、正に実現したこの工場と加工技術で、経済的にも発展し雇用も促進し地域にも貢献出来ると考えています。

小ロットの商品開発からパッケージまで、県内の農業者の思いを形にするのがらぱんの加工工場です。いわき遠野らぱんの加工工場が生産する製品は、ブックシマから福島へ回帰する手立てであると確信しています。



企業概要

企業名 株式会社 いわき遠野らぱん
 代表者名 代表取締役 平子 佳廣
 住所 〒972-0161 福島県いわき市遠野町上遠野字若宮60-1
 TEL 0246-89-3125
 FAX 0246-74-1113
 URL http://www.iwakitohno-lapin.co.jp/
 MAIL info@iwakitohno-lapin.co.jp
 農業生産法人 いわき市指令農委145号
 認定農業者 認定番号17-46(323)

～ふくしまの商工業の再生を目指して～



「第55回通常総会」

去る5月25日、コラッセふくしま多目的ホールにおいて第55回福島県商工会連合会通常総会を開催した。

総会では、席上、商工貯蓄共済並びに優良商工会等の表彰を行い、続いて来賓の内堀知事が祝辞を述べた。

議事では、重点事業として、日本橋ふくしま館(MIDETTE)を運営する「福島県首都圏情報発信拠点アンテナショップ戦略事業」や、全国主要都市でのイベントキャラバンの展開、福島のおいしいもの食のフェアを県内で開催する「ふくしまの『食』再生応援事業」、また、避難区域の商工会、会員を広域的に支援する復興専門員の配置など、風評被害払拭、県産消費拡大と、中小、小規模事業者の持続的な経営に向けた支援などを盛り込んだ、平成27年度の事業計画を決定し、任期満了に伴う役員改選では、9名の役員が退任し、会長に豊田倉治会長(岩瀬)が再任されるほか新役員が選任された。

「平成27年度 事業計画重点事項」

1 東日本大震災・原発事故の被災中小企業・小規模事業者に対する商工会組織を挙げた支援の強化

- 1 東日本大震災及び原発事故に伴う中小企業・小規模事業者の再生・再建と避難地域商工会機能の回復・強化への支援
- 2 原子力損害賠償の完全実施への支援
- 3 被災商工会に対する商工会組織を挙げた支援の実施
- 4 被災商工会等の復興ビジョンに基づく事業の実施

2 原発事故による風評被害払拭と消費拡大に向けた取り組み

- 1 福島県首都圏情報発信拠点アンテナショップ戦略事業(福島のおいしいものアンテナショップの運営)
- 2 ふくしまの「食」再生応援事業(主要都市における商品販売支援事業の実施)
- 3 ふくしまの新たな商品開発に向けた支援事業
- 4 通信販売(頒布会)支援事業
- 5 福島のおいしいもの食のフェア
- 6 ふくしま県産品販路拡大・人材育成支援事業
- 7 福島県の産品・加工食品放射能検査支援
- 8 被災地域の中小企業移動販売支援(軽自動車配備)

3 小規模企業振興基本法を踏まえた小規模企業支援の推進

- 1 経営発達支援計画の認定の推進
- 2 小規模事業者の経営計画策定の推進(セミナー、相談会)

4 中小企業・小規模事業者の復興と持続的発展に向けた支援強化

- 1 提案型の経営支援・巡回訪問の推進強化
- 2 小規模事業者の持続的な経営に向けた支援の推進
- 3 福島県中小企業者復興支援事業(復興支援員の設置)
- 4 避難地域商工会等機能強化支援事業(商工会等復興専門員の設置)
- 5 中小企業震災復興・原子力災害対策経営支援センター福島の4分室事業
- 6 創業・業種転換支援セミナーの開催
- 7 ネットde記帳等による小規模企業の生産性及び経営力向上の支援
- 8 小規模企業の経営データベースによる経営支援体制の強化
- 9 中小企業・小規模事業者に対する金融支援の強化
- 10 消費税増税に係る中小企業・小規模事業者に対する支援
- 11 中小企業・小規模事業者に対する事業継続計画(BCP)策定支援



5 商工会の組織基盤の強化及び徹底した会員サービスの充実強化

- 1 商工会の組織基盤の強化
- 2 商工会職員の資質向上対策の推進
- 3 会員サービスの充実強化

6 商工会地域経済振興事業による地域再生

- 1 商工会等地域復興ビジョンへの取組み支援
- 2 商工会地域貢献アピールプラン策定と積極的アピール
- 3 地域生活者支援システム構築の支援

商工貯蓄共済表彰(目標達成商工会)

国見町、三穂田町、中田町、長沼、天栄村、玉川村、三春町、都路町、常葉町、大信、鮫川村、北塩原村、西会津町、猪苗代町、湯川村、柳津町、会津美里町、広野町、双葉町、葛尾村、小高、小川町、川前町、久之浜町

職員報奨制度 新規獲得口数上位者

順位	所属商工会	氏名	順位	所属商工会	氏名
1	南会津町	小島 毅	6	あだたら	佐藤 陽介
2	広野町	松岡 洋文	7	きたかた	佐藤 文代
3	猪苗代町	青津 恵美子	8	内郷	吉崎 さおり
4	保原町	遠藤 圭一郎	9	会津坂下町	根本 淳也
5	三春町	菅野 正司	10	鮫川村	新村 聖子

平成26年度実施事業 優良商工会等表彰(事業功績)商工会事業

- ① 経営革新計画策定支援 船引町……経営指導員 佐久間剛
古殿町商工会…経営指導員 藤田達夫
- ② 記帳支援事業 内郷商工会、只見町商工会

(職員資質向上)平成26年度資格取得商工会職員

中小企業診断士取得 青柳 孝(中通り広域指導センター)

新役員

会長	豊田 倉治(岩瀬)
副会長	田中清一郎(双葉町)・渡部 文一(南会津町) 渡邊 武(伊達市)・佐藤 一美(内郷) 高橋 健(ひかし)
専務理事	今泉 秀記
理事	安斎 道弘(飯坂町)・三浦 勝真(あだたら)・斎藤 泉(大玉村)・渋谷 重二(高久山町) 橋本 栄一(石川町)・菅野 幸治(大越町)・大高 紀元(西郷村)・渡部 勝男(下郷町) 一ノ瀬正一(猪苗代町)・原 幸二(会津坂下町)・澤田 一夫(鹿島)・高橋 孝光(好間町) 河治 徹(県青連会長)・服部 淳子(県女連会長)
監事	山口 勇(安積町)・田代 衛(きたかた)



～県青連第48回通常総会の開催～

福島県商工会青年部連合会の第48回通常総会が5月19日(火)、福島県副知事をはじめ宮本周司参議院議員等多くのご来賓を迎え、県下青年部員108名参加のもと、郡山市「郡山ビューホテル」にて開催されました。河治徹会長の挨拶後、本多幸雄部長(塙町)を議長に指名し、議案審議に入り第1号議案から第3号議案まで原案通り可決しました。

平成27年度の事業計画では、今年で4回目の開催となる「商工会うまいもんNo.1決定戦」や地域の経済活動の担い手となる若手経営者及び後継者の資質向上のための組織基盤強化推進セミナーの実施。そして、平成28年に開催される「商工会青年部・女性部全国組織化50周年記念式典」及び「平成28年度商工会青年部全国大会」に向けて青年部一丸となって活動することを採決しました。

昨年度に引き続き、福島県商工会青年部員顕彰の表彰が行われ、人(ヒューマン)づくり部門、ネットワークづくり部門、まち(地域)づくり部門、感謝状の計8名と1団体の表彰が行われ、河治徹会長より表彰されました。

青年部員顕彰リスト

表 彰	地 区 名	商 工 会 名	氏 名
人(ヒューマン)づくり部門(個人)	会津地区	猪苗代町	吉野 貴之
ネットワークづくり部門(個人)	県南地区	大 信	手塚 善勝
まち(地域)づくり部門(団体)	県北地区	国見町	(部長:佐久間友和)
感謝状(個人)	県北地区	松川町	斎藤 陽一
	県中地区	湖南町	古川 貴大
	県南地区	鮫川村	関根 巨樹
	会津地区	南会津町	君島 大輔
	相双地区	川内村	箭内 崇
	いわき地区	遠野町	平子 元規



鈴木正晃副知事



宮本周司参議院議員



青年部員顕彰の様子



通常総会の様子

～県青連全体部長会の開催～

通常総会にあわせ、同日、平成27年度福島県商工会青年部全体部長会が開催されました。

はじめに、河治会長より平成28年度商工会青年部・女性部組織化50周年記念式典及び商工会青年部全国大会について説明が行われました。続けて、総務委員会として村松委員長より、県青連100円玉募金事業や主張発表東北大会・全国大会の参加要請が行われ、研修委員会として、押田委員長より平成27年度商工会青年部トップセミナーの日程及び会場の発表が行われました。最後に広報委員会として、平委員長より県青連Facebookや全青連公式アプリの紹介が行われました。



県青連全体部長会

商工会女性部トップセミナー・第48回通常総会開催される！ 主張発表大会：最優秀賞(県知事賞) 小暮恵美子さん(下郷町商工会女性部)！

第48回県商工会女性部連合会通常総会は、5月7日・8日、会津若松市東山温泉「御宿東鳳」において開催され、内堀県知事、轡田県連会長はじめご来賓を迎え、県内89商工会から240名の部長・部員が出席しました。通常総会では辺見加津子部長(西郷村)が議長となり第1号議案から第4号議案までを可決承認しました。

今年度の事業活動については、平成28年度に開催する全国組織化50周年記念式典を素晴らしい大会へ導くための重要な年になるため、県内女性部の基盤強化と意識統一を図りながら各事業を推進して行くこととしました。

その他新たな取組みとして、総会の席上で昨年度新規部員の加入数が最も優れていた3女性部に対し表彰及び報奨金として目録の授与を行いました。

また、任期満了による役員選任が行われ、服部淳子会長(あだたら)が再任されました。



総会の様子(左:服部会長挨拶 中央:女性部員増強運動表彰 右:女性部の歌斉唱)

平成26年度新規部員加入実績

- 第1位 あだたら商工会女性部 加入数10名**
- 第2位 柳津町商工会女性部 加入数 7名**
- 第2位 内郷商工会女性部 加入数 7名**

同日には、県内6ブロックの代表者による商工会女性部主張発表福島県大会が行われ、「女性部活動と地域振興・まちづくり」～美と健康・フラダンス!～のテーマで発表した会津地区代表 下郷町商工会女性部副部長の小暮恵美子さんが、最優秀賞(県知事賞)に選ばれ、7月16日～17日に開催される東北・北海道ブロック大会(開催地 宮城県)への出場を決めました。



県女性連会長と発表された6地区の代表者の皆さん

県女性連新役員

- | | |
|-----|---|
| 会 長 | 服部 淳子(あだたら) |
| 副会長 | 清野由美子(きたかた)
二瓶恵美子(滝根町) |
| | 吉田 孝子(双葉町)【新】 |
| | 渡邊 富子(矢吹町)【新】 |
| | 鈴木 礼子(内郷)【新】 |
| 理 事 | 大橋佐紀子(保原町)
斎藤 光子(伊達市)
佐久間信子(飯野町)【新】
織田 洋子(安積町)
野内 福子(喜久田町)
小林 春江(岩瀬)【新】
会田美津子(平田村)【新】
熊倉 うめ(中島村)
松本 幸子(矢祭町)【新】
猪股 成子(南会津町)
神 トシ子(猪苗代町)
佐藤 高子(会津坂下町)
武田美恵子(柳津町)
三瓶 幸子(富岡町)【新】
山本千代子(大熊町)【新】
瀬谷 光子(田人町)【新】 |
| 監 事 | 過足 文子(三春町)
星野 幸子(会津美里町)
※理事・監事地区順 |



東日本大震災 復興応援プロジェクト版

風評被害払拭のため、異業種から転身し地元石川町をはじめ、福島の復興のためにがんばっている事業所を紹介いたします。



伺いました。

ています。オンラインショッ



園で穫れた果実を加工して
ジも可愛く女性に人気で、
すがりんごジャムの中にパ
ーベリーの4倍といわれる

伺いました

ごさいませんでした。そん
るのではと考えました。
え付かないような独創的
との思いで突き進んでま
ごさいます。風評被害、過
次の世代へ発展する農業
神が土台にあり、『温故知
ております。広がるビジョ
して同じ農業者はもちろ
す。これからの日本を担う
りたいという夢を持って



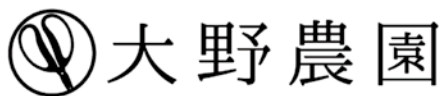
福島地ビールさんとの
コラボレーションで商品
化したフルーツビール
上: Apple lager
下: peach lager

静岡に本社のある
TEA tricoさんとのコラ
レーション。甘酸っぱい
香りが癖になるフルーツ
ティー。そのまま食べら
れるのもまたいい。りん
ご・もも各種あります。

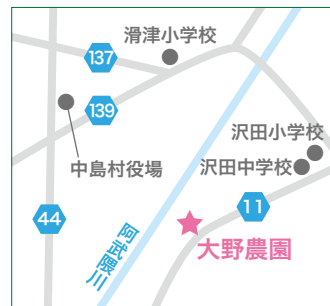


石川町

大野農園株式会社



〒963-7826 石川郡石川町赤羽新宿130
TEL 0247-57-6004 FAX 0247-26-0500
E-mail info@oononouen.com
URL <http://www.oononouen.com/>



季節に合わせた農園イベントを開催しています

春 農園花見

農園に咲く果実の花に囲まれてBBQ。必要なものは大野農園で準備してくれますので、手ぶらでもOK。

夏 農園ビアガーデン 7月・8月の10日間
今年初のイベントです。

秋 りんごの木De焼きりんご

日本全国に伝わる小正月の火祭り行事「どんと焼き」になぞらえたオリジナルイベント。選定したりんごの枝を集めて農業体験をしながら、焼き立てのアツアツ焼きりんごを作ってみんなで食べようという企画。昨年初のイベントで好評でした。

詳細はHPまたは大野農園へお問い合わせください。



ジュースはりんご・もも・りんごとなしのブレンドの3種類。飲みやすさを重視しているため甘みが少なく酸味があるものを使用しています。りんごとなしのブレンドジュースは珍しく福島はなしとりんごが同時期に穫れるのでできるのだそうです。なしはジュースにするとどうしても甘さが強く出てしまうのでど
越し良く加工するのがポイント。早速いただきましたが、甘みが少なくすっきりとしています。

ギフト商品は詰め替え
自由です。お好きな商品
をセレクトできます。





スイーツピザ専門店(オラゲーノ)

2013年11月にオープンしたスイーツピザ専門店「オラゲーノ」はキッチンカーで依頼があればどこへでも出店いたします。

車1台分のスペースがあればOK! お問い合わせは、大野農園まで

福の味覚がぎゅっと詰まった農園窯焼きピザの3つのこだわり

福を届ける

“福島の美味しい”

こだわり食材を全国へお届け

福を食べる

“福島の美味しい”

こだわり果実・野菜を使った
フレッシュ&スイーツピザ

福をかう

“福島の美味しい”

こだわりの果実商品を買う

お値段もお手頃 ALL500円のワンコイン

トッピングは大野農園で大切に育てられた果物たちの他に地元の農家で栽培された新鮮な野菜たち。季節に応じて旬なものを提供しています。地元の農家も巻き込んで農業の販路開拓をするにはどうすればよいのか、福島産のものを発信するツールとして何がいいのか思い悩んでいた時、いろいろな具が乗せられるピザがひらめいたそうです。



りんごの木オーナー制度



大野農園と1シーズン(概ね7月~11月)の契約で、自分のりんごの木を持つことができる制度です。通常りんごができるまでに摘果や除草、剪定といった農作業を行う必要がありますが、りんごの木オーナー制度では、おいしいりんごができるまでの農作業を大野農園が代行してくれます。

もちろん、契約したりんごの木になったりんごは全てオーナーだけのものです。

1本 23,000円 最低保障200個

大野農園極熟りんごジュースのプレゼントや記念撮影写真のサービスなど嬉しい特典もあります。

異業種からの転身

代表者の大野栄峰(おおのよしたか)さんは、宮城県仙台市内の大学に進学後、18歳でモデルを始めCM、ファッションショー、ファッション誌などで活躍し、23歳で上京、東京を拠点に芸能活動をしていました。転機は2011年3月11日の東日本大震災で、実家のある福島県にも大きな被害がもたらされました。福島県石川町は原発事故があった場所から65km以上離れた距離にあり、直接的な被害は避けられたものの、「風評被害」という誤解されたイメージで大きなダメージを受けました。今まで両親が経営していた果樹園も少なからず風評被害の影響があり、育ててくれた両親、育った町の為に何か力になれる事は無いかと地元石川町に戻り、2012年5月大野農園後継とともに「大野農園株式会社」を設立しました。

商品について、営業部の市村さんにお

商品はりんご・なし・ももなど新鮮な果物の他に加工品もたくさん揃っています。いつでもご購入いただけます。



大野農園ジャム

りんご・なし・もも・ハックルベリーなど農園で作ったジャム。味はもちろんのこと、パッケージにも喜ばれています。特徴は果肉が大きいこと。すべておすすめで、ニラピーズがふんだんに入ったりんごバニラとアントシアニンがブルーベリーも、特におすすめです。

農業への想いと今後の展望 大野さん

学生時代は部活動中心の生活で農園の手伝いなどした事がほとんど。素人の私でございますが、農業経験の無い事をポジティブに転換出来た。プロの生産者とは別の視点で農業を捉え、従来の常識的な農業では考えられない発想と行動力で型に捉われない新たな農業のスタイルを形成したい。自分自身、常に思い描いている「カッコいい農業」が目標に。疎雑など地方が抱える現実を肌で感じ、次の世代へ魅力を感じる農業を目指し日々邁進しております。創業者が創り上げてきたモノづくりの精神で先人の古き温め、新しきを知る農業を展開できればと考えています。農業という枠を超え、新たな可能性が生まれると信じております。そんな、異業種を巻き込むことで地域の発展、活性に繋がると考えております。大切な子供たちに、農業の魅力、発展性を伝えバトンを繋ぐ担い手になってほしいです。

と今後の夢を語ってくれました。

ズームアップ。



県内4地域の商工会から、地域でがんばっている会員企業をご紹介します。
みなさんの経営のヒントになるお話もたくさんいただきました。
是非、ご感想を福島県商工会連合会までEメールにてお寄せ下さい。(f-wing@do-fukushima.or.jp)

県北

国見町商工会

「健康志向のパンを食卓へ」



BAKERY SAKUMA
有限会社 佐久間パン店
取締役 佐久間 浩之氏

〒969-1761
伊達郡国見町藤田字北63-1
TEL 024-573-7200

■黒糖はアルカリ性

有限会社佐久間パン店は、国見町の藤田小学校近辺から国見町の商店街に店舗を移し、BAKERY SAKUMAとして今年5月15日オープンしたばかりのパンと菓子のお店です。3代目になる佐久間浩之さんは、家業を手伝い始め学校給食のコッペパンを焼いていた頃から「将来は独立した店舗を持ちたい」という目標を持ち、製粉メーカー等の取引先や業界が主催する勉強会に積極的に参加していました。

そんな中、より健康的な食生活を送りたいという消費者ニーズが高まっている、また、安心安全な食品を提供することが不可欠であるとの結論に至り、粉選びからパン生地を作りオープンで焼き上げるまで、すべて店舗内で行っています。



一番人気の黒糖パンは、一見すると学校給食のコッペパンと同じであると思われがちですが、黒糖の分量を通常の2倍以上使用し、味・風味・柔らかさに加え、アルカリ性の黒糖が脳に栄養を与え、疲れている現代人にふさわしい健康食品であるとのイメージも後押ししています。また、具材の餡は、北海道の小豆を使用し自社で炊くということもこだわりの一つであります。

■国見バーガーのパンズ

店頭に陳列していない食パンを即座に厚切り薄切

りし提供することはもちろんのことですが、お客様の要望に応えることができます。商工会が手掛けてキッチンカーで販売するまで規模を拡大した「国見バーガー」が各種イベントで大人気ですが、使用されているパンズを自社で製造し提供させていただいております。

■身近で頼れる存在

今回オープンするに至っては、専門家派遣や事業計画の作成・資金繰り・持続化補助金の申請などについて、商工会帆布経営指導員による親身な支援があったことに感謝しています。

今後は、ハード系のフランスパン等やロールケーキ等の新商品の製作によるバリエーションの追加や道の駅で販売することも視野に入れ、更なるイメージアップと生産性の向上を目指すため、商工会の支援をいただきながら事業展開していきたいと思っております。



県中・県南

大東商工会



有限会社 川東寿司幸
代表取締役 吉田 貴信氏

〒962-0727
福島県須賀川市小作田字足原内22-2



■期待以上の満足

同店は、須賀川市の東部地区において、昔ながらの手仕込みを行う本格寿司を中心に祝い事や法事等の御膳料理、各種会議用弁当と様々なお客様のご要望にお応えした料理を提供している。立ち寿司業界では早くから多くの車輛を導入し、来店型スタイルの経営から、配達に力を入れてきた。ひとときわ目に付くカラフルな出前用の配達車は



市内の人気もので、1人前の注文から市内を越えて配達する。「おいしい寿司をたっぷり楽しんでほしい」との初代店主の思いから、シャリはもちろん、ネタも大ぶり、全国から仕入れる旬のネタを惜しげもなく振る舞う心意気は二代目店主も変わらず受け継いでいる。

小規模事業者持続化補助金の活用によりメニューを刷新したちらしを作成。ポスティングや新聞折り込みによる商圈エリアの選択と集中で販促活動に力を注ぐ。消費増税の懸念も跳ね除け配達エリアの拡大強化を図っている。当店のちらしを保存してくれているお客

様が、多くいらつしゃる事に感謝感激の中で「常に期待以上の満足」を提供する事を心掛けています。

■商工会を活用しよう!

商工会との関わりは青年部員の時代から20年余に渡ります。様々な人との出会い、体験、勉強をさせて頂きました。今、寿司業界の厳しい時代だからこそ、商工会の活用が重要であり、計画書作成やちらし作成、商品開発等で都度、指導員さんにアドバイスを頂き、たいへん頼りにしております。

本年は県産品の素材を活用した加工食品開発にチャレンジし、商工会には引き続きご指導をお願いしているところです。地域、お客様にお世話になっている恩返しできればと日々努力を続けてまいりますので、引き続きご支援を宜しくお願い致します。



会津

会津坂下町商工会



食堂いしやま

代表 福地 隆一氏

〒969-6543

河沼郡会津坂下町字市中二番甲3617

TEL 0242-83-2365

営業時間 / 11:00~14:30

16:00~19:00

定休日 / 不定休

■お土産用冷しラーメンの開発

このご紹介するのは昭和13年開業の老舗の飲食店「食堂いしやま」さんです。

当店の「冷しラーメン」は昭和27年に先代の奥様が「風邪でのを痛めたお客様が食べ易いように麺を水で冷やして提供した」ことから誕生した自慢のラーメンです。

当店は今までも何度かテレビや新聞などで紹介されていましたが、最近になりこの冷しラーメンが更に脚光を浴びるようになり、店主の福地さんが以前よりお土産ラーメンの販売に意欲を持っていたこともあり、お土産用冷しラーメンの開発となりました。

パッケージはカラー印刷の派手なものではなく、冷しラーメン同様にシンプルながらも味わいのあるものを作りたく、との店主の希望に沿うべく、専門家派遣事業等を活用しながら試作品の開発を進めました。

ゴールデンウィーク前に販売を開始したい、との強い要望があり、時間がない中での開発となりましたが、当町出身の著名なラメ



ン評論家のお墨付きもいただき、ようやく完成、販売にこぎ着けました。

当店店頭の他、道の駅あいつでの販売も開始、多い日で一日に50箱の売上を記録している他、県内外の物産展等での売れ行きも好調で、より一層の販路拡大に努めています。

■大きな存在の商工会

原発事故以来、下がり続ける年間売上高に歯止めをかけるべく土産用冷しラーメンという新商品の開発を試みました。おかげさまで売れ行き好調で助かっています。

そこには、商工会の経営指導員のアドバイスや専門家派遣事業等のバックアップがあり今日に至っております。新商品開発や決算指導、融資相談等々、当店にとって商工会はとても大きな存在です。

今後ともご支援のほど何卒よろしくお願いたします。



浜通り

田人町商工会

「ファンから愛され続けるカレー専門店」



チャンド・メラ

代表 澤田 祥彦氏

〒974-0153

いわき市田人町南大平字川平35-4

TEL 0246-69-2232

営業時間 / 11:00~20:00

(ラストオーダー19:30)

定休日 / 日・月曜日・火曜日(祝祭日は営業)

■森の中で“ほっこり”

今回、田人地区から「インド料理 チャンド・メラ」をご紹介いたします。

お店は、平成4年にインドカレー料理専門店として開業、隣接して貸ギャラリー「昨明(かる)」、「喫茶MOMO」をオープンさせ、来店者に様々な寛ぎを提供しております。

国道289号線沿い、常磐道勿来IC下車約5分のアクセスの良さに加え、緑に囲まれのんびり・ゆったりとした自然の中で食事を楽しむことが出来るため、年間を通して多くの来店者がありました。原発事故の影響で来店者は一時激減したものの、根強いファンの支えもあり今は順調に回復傾向にあります。

今後の更なる経営安定化のためには「新規客の獲得」を図る必要がありましたが、お店は国道沿いながら敷地周囲は木々に囲まれている等、走行車輛からは識別しづらく、お店の存在を分からない人はそのまま素通りしてしまうという課題がありました。課題を解消し、新たな販路拡大を図るため、小規模事業者持続化補助金を活用することを提案、事業主と一緒に経営計画の作成に取り組みました。今年1月には夜間照明付の看板を新設するとともに、来店者が敷地内で寛げるようベンチを設置するなどの環境整備も行ってあります。

いわきにお越しの際は、お立ち寄りいただいて“ほっこり”しませんか。

■商工会とお客様に支えられて

震災後、原発事故によりお客様の足が全く遠のき、店を閉めざるを得ませんでした。

約2カ月後にお店を再開した時は6割減の状態、この先店を続けていけるのかどうか、不安な毎日を送っていました。

そんな中、経営指導員から持続化補助金を活用した販路拡大の話がありましたが、最初は積極的には考えられませんでした。

しかし、良く考えてみると少しずつではありましたが来店者数も回復してきており、このピンチを大きなチャンスに変えることになるかも知れないと思い新たな販促計画を作りました。

補助事業の採択により、真新しい看板なども整備し、店舗環境も一段と良くなりました。営業の回復もあと一歩のところまできている次第です。



「富岡町の復興に向けて」

富岡町商工会



富岡町商工会長の山本育男です。

東日本大震災及び東京電力原子力災害以降、富岡町は依然として厳しい状態が続いております。そこで、今までを振り返りながら、今後の予定を述べようと思えます。

① 東日本大震災以前

富岡町は多くの官公庁が置かれており、双葉郡南部の中心地でありました。東京電力第二原子力発電所が立地しており、会員事業所を含め多くの事業所が東京電力関連の仕事に携わっていました。

② 震災後から現在まで

商工会は、東日本大震災により会館が半壊し、国から避難区域の指定を受けたため避難を余儀なくされました。

震災直後の平成二十三年四月には富岡町・広野町・楢葉町・川内村の広域連携単位で四倉町商工会にお世話になり、

平成二十三年五月にはいわき市平上荒川にある事務所を借用しました。その後平成二十三年六月からはいわき市社会福祉センターに落ち着くことができました。当初は四商工会での入居でしたが、広野町と川内村はそれぞれの帰還宣言に合わせて帰還したため、現在は二商工会での入居となっております。

会員事業所個々の支援としては、東京電力損害賠償金請求、グループ補助金を始めとした各種補助金申請、特定地域中小企業特別資金を始めとした各種融資、過年度分を含めた決算申告等があり、震災直後しばらくは毎日引つ切り無しに窓口対応に追われていました。職員数は限られていますので何とか乗り切ったというのが実情です。窓口対応が一段落してからは、会員からの要望が多い「放射線」、「相続、贈与、事業承継」、「売上アップ」をテーマとした講習会を開催してきました。さらに、事業再開を果たしている会員事業所をPRするためにはのほりを作成し、店頭飾っております。

地域経済復興支援としては、大玉村にある仮設店舗「えびすこ市場」運営や移動販売を行っている「合同会社富

岡さくらの郷」を積極的に支援しています。えびすこ市場一周年記念イベントを実施し大盛況でした。このえびすこ市場は大玉村の仮設住宅に避難している町民のみならず、地元大玉村民も多く利用していただいております。富岡町民の避難先移転もあり、売上維持は喫緊の課題ではありますが、現在は五周年記念イベントに向けて頑張っております。



えびすこ市場

また、富岡町と埼玉県杉戸町は友好都市であり多くの町民が避難しています。そのため毎年春夏・秋に杉戸町で開催している産業祭へは町と商工会合同で出店し、富岡町を始め双葉郡の特産品をPRしています。

双葉郡の復旧・復興のために復活した「ふたばワールド」へは、青年部・女性部・会員事業所で毎年出店しています。商工会がいわき市に避難していることもあり、「かしまふれ愛さくら祭り」や九十年以上続いている「いわき市平七夕まつり」にも参加し地域との交流も図っています。

風評被害払拭や消費拡大、新規取引創出を図るため、県連と連携しながら

「福島美味しいもの食のフェア」へは今後も出店を続けていきたいと思えます。



杉戸町産業祭



ふたばワールド

③ 今後について

富岡町も帰還に向けて具体的に動き出しており、事業再開に対する意向調査が始まることとしています。商工会は特に商業地域の指定や商業施設の建設等について町と連携を密にしながら、復興計画実現に向け会員事業所の支援やまちづくりに対する支援を行う予定です。

しかし、事業所の抱える問題は様々であり、帰還を考えている事業所、帰還を考えていない事業所等会員によって状況は異なります。商工会としましては、あくまでも会員事業所ごとの意思を尊重しながら会員に寄り添った支援をして参ります。

語りついで 未来の富岡町へ
つかみ取るっ 私達の未来を

Information

商工会だより

Information

商工会だより

「地域の力で賑わいの創出を！」 大信商工会



大信商工会長の塩田芳美です。大信地域（旧大信村）は、平成十七年に白河市・表郷村・東村との一市三村で合併し今年十周年になりました。

大信地区の地形は、国道二九四号線が南北に走り、国道四号線に接続し旧白河市と天栄村に隣接しています。

地区の西北部には、標高九千七百六十三・三メートルの権太倉山があり、春は山桜、ツツジ、松、秋は紅葉などに彩られ、四季折々の風景が楽しめます。那須連山のもとに広がる聖ヶ岩は、ロッククライミングのポイントとしても知られています。聖ヶ岩はその昔、源義経が奥州に向う途中この岩で休み、その絶景を眺めて名付けたといわれ、徳一大師の子弟で修験者・聖坊が庵を造って村人の無病息災と五穀豊穡を祈願したことから名付けられたと伝えられております。大信商工会は昨年創立五十周年を迎え、今年が青年部が設立四十年、白河市が合併十周年、福島DCの年でもあります。

りますので、合わせて様々な記念事業を実施しています。



花の王国



案内人

「花の王国ふくしま」

花いっぱいおもてなし運動事業

（福島県観光復興キャンペーン補助事業）

「聖ヶ岩などの観光スポットをPRし大信地区へお越しのお客様を迎えるため四月から大信商工会全事業所（七十三名）と公共機関に木製プランターを設置しました。地域全体が観光案内人としておもてなしの歓迎を行っております。

しらかわプレミアム商品券発行

（白河市補助事業）

昨年は、大信・ひがし・表郷の三商工会と白河商工会議所が共同でプレミアム商品券を発行しました。今年は、国の地域消費喚起・生活支援型交付金を活用して、震災後の風評被害払拭、地元産品等の消費拡大と地域経済の活性化を図るために、プレミアムを20%に増額して発行する予定で準備を進めています。発行総額は二億四千万円。七月二十四日（金）からの販売で六ヶ月間使用できますので是非お買い求め下さい。

大信商工会青年部設立40周年記念事業

「県南S-1グランプリinたいしん」

（福島県サポート事業・白河市商工会企画事業）

五月二十三日（土）・二十四日（日）の両日、大信総合運動公園を会場として、震災以後続く風評被害払拭と地域の活力向上のため、県南地方の魅力を知ってもらう「こ当地グルメ対決」を開催しました。県南地区青年部の協力により、県南地域の食材を活用した地域グルメを一堂に会したイベントは、当日の天候にも恵まれ県南地方のグルメ対決の他、観光展示等々を行



前夜祭



出店



ゆるキャラ

いました。入場者の目標は千人でしたが二日間で一万千五百人の来場者があり予想以上に賑わいました。
（※S-1の意味は食のS、商工会のS、青年部のS、白河地方のS）

この他、今年六月から会員事業所の復興に向けた情報提供ツール製作のための「ホームページ講習会」、大信地域の「こ当地キャラ製作」、七月には「ふるさと川まつり二〇一五」、十一月には「たいしんふれあい元気まつり」を実施します。また、地域や近隣の観光発信、市民活動の発表、研修・交流・福祉など、住民が集える場所、生活・文化・地域振興のための食と買い物施設を合わせ備えた大信地域拠点の「たいしん地域交流センター（仮称）」を平成二十八年にオープンする予定です。新たな地域特産品開発を進め、地域に賑わいを創出していきます。これからも会員や地域から頼られる商工会として活動して行きたいと考えています。

新しい会館で業務再開

小高商工会

東日本大震災以後、南相馬市原町区に臨時事務所を置いていた小高商工会は、6月1日、同市小高区中心部の新会館で業務を再開した。避難区域内で商工会が再開するのは初めてであり、小高区での業務は約4年3カ月ぶりとなる。

市は、平成28年4月に避難指示解除準備、居住制限両区域の解除を目指しており、行政と連携し、会員のみならず地域住民が帰還する環境づくりの第1歩を踏み出した。

旧会館は老朽化が進み震災で建物が一部損壊したことから建て替えを決定。総工費は、クウェート救援金を財源とした福島県原子力災害等復興基金による避難地域商工会館等施設等復旧支援事業と全国商工会連合会の中小企業組合等共同施設等災害復旧費補助金、南相馬市補助金を活用しており、建設決定の後押しとなった。



■小高商工会 住所:南相馬市小高区本町1-44
電話:0244-32-0300 FAX:0244-66-1195

ネットde記帳

わかるまで・できるまで 商工会の“しっかり”サポートで、 とっても安心!

お問い合わせは、
商工会まで

【商工会推奨経理ソフト】

誰にでも楽々できます!

操作は簡単なので、パソコン初心者でも安心してご利用いただけます。また、気になるところは付箋機能による質問も可能。商工会と相談しながら入力を進められます。



どこでも楽々できます!

インターネットが使えるパソコンがあれば、会社や自宅はもちろん、出張などの出先からでも、すばやく伝票入力や元帳の確認などができます。



電子申告までできます!

「ネットde記帳」なら、帳票イメージに近い画面からの入力で、簡単に所得税や消費税の申告書類を作成できます。そのまま電子申告することも可能です。



中小企業の皆様、こんな悩みをお持ちではないですか?

アジアで販売したいが
情報不足、模倣品も不安

売上げ好調だったが
類似品登場で売上減

知的財産がどのように
役立つか聞いてみたい



知財で解決できるかも!

相談無料

知財総合支援窓口にご相談ください!

秘密厳守

直通:024-963-0242 所在地:郡山市待池台1-12 福島県ハイテックプラザ2F
東北経済産業局特許室委託:特許等取得活用支援事業 実施:一般社団法人福島県発明協会 <http://www.fukushima-i.org>

お問い合わせは、
商工会まで

大きな
死亡保障

生命の保障が

新登場!



お問い合わせは、商工会まで



News Clipは循環型社会の現実を目指して、環境に配慮した植物油インキと再生紙を使用しています。